

平成 27 年 1 月 21 日

日本泌尿器科学会教育施設
泌尿器科 御中

尿路結石全国疫学調査の依頼

前略

わが国の尿路結石の疫学調査は、1965 年から 10 年毎に、京都大学泌尿器科学教室を中心として行われてきました。そして 2005 年の疫学調査は、京都大学泌尿器科学教室のご協力を得、日本泌尿器科学会の承認のもとに、日本尿路結石症学会が中心となり施行させていただきました。それらの成果は、世界的にも類を見ないもので高く評価され、尿路結石の診療と行政に活用されています。前回の調査から 10 年目にあたる 2015 年の疫学調査は、日本泌尿器科学会の承認のもとに、日本尿路結石症学会が継続して行うことになりました。

つきましては貴施設に疫学調査へのご協力を賜りたく、書面にて誠に失礼ではございますが、お願い申し上げます。ご協力いただくことの可否につきまして、同封の FAX 送信票にてご連絡いただければ幸いです。お手数ではございますが、平成 27 年 2 月 20 日（金）までにご返送くださいますようお願い申し上げます。また、本調査につきましては、金沢医科大学（平成 26 年 10 月 20 日付け承認）、大阪市立大学大学院医学研究科（平成 26 年 10 月 28 日付け承認）、千葉大学大学院医学研究院（平成 26 年 12 月 2 日付け承認）における倫理委員会において承認を受けております。わが国の尿路結石の実態をできる限り正確に把握するためにも、またこれまでの貴重な調査内容を継承するためにも、貴施設のご参加をお願い申し上げます。

草々

疫学調査の概要

調査期間 2015 年 1 月～12 月の 1 年間

調査内容 従来までの調査と同様に 2 つの方法で行います。

1. 各医療機関における尿路結石患者の実数調査（資料 1）
2. 患者個人調査（資料 2）

日本尿路結石症学会
理事長 市川 智彦
全国疫学調査委員長 宮澤 克人

F A X 送信票

宛先 日本尿路結石症学会事務局行き
(千葉大学大学院医学研究院 泌尿器科学内)
FAX 043-226-2136
※2015年2月20日(金)までにご返送ください

- 1) 疫学調査にご協力いただけますか。(番号を○で囲んでください)
 1. 患者実数調査のみに協力する(資料①の1~3の表にデータ記入)。
 2. 患者実数調査(資料①)と患者個人調査(資料②-1の表にデータ記入)に協力する。(資料②-2、3は、資料②-1を記入する際、必要に応じてご利用ください。提出の必要はございません。)
 3. 協力できない。

- 2) ご協力頂ける施設には後日、調査用紙などをお送りいたします。記入方法は下記のどちらがよろしいですか。(番号を○で囲んでください)
 1. 調査用紙を用いた郵送形式
 2. Excel、ファイルメーカー等を用いた調査項目の入力

- 3) ご意見、ご質問がございましたら以下の余白にお願いいたします。

ご記入者名 _____

貴施設名 _____

ご住所 〒 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____